

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【公開番号】特開2013-5838(P2013-5838A)

【公開日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-002

【出願番号】特願2011-138761(P2011-138761)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

予め定めた複数種類の特別図柄を変動させて行う特別図柄変動ゲームを表示する特別図柄表示手段と、入球した遊技球を検知することにより前記特別図柄変動ゲームの始動条件を付与する始動手段と、を備え、前記始動手段には、前記遊技球の入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように動作する開閉手段を有する開閉始動手段を含む遊技機において、

前記始動手段に遊技球が検知された場合には、前記特別図柄変動ゲームの始動条件の成立数を示す始動保留球を記憶する保留記憶手段と、

前記始動保留球が前記保留記憶手段に記憶されている場合には、前記始動保留球に基づき前記特別図柄変動ゲームが大当たりとなるか否かの大当たり判定を実行する大当たり判定手段と、

通過した遊技球を検知することにより、予め定めた複数種類の普通図柄を変動させて行う普通図柄変動ゲームの始動条件を付与する普通図柄始動手段と、

前記普通図柄始動手段に遊技球が検知されたことを契機に、普通図柄変動ゲームが当りとなるか否かの普通当り判定を実行する普通当り判定手段と、

前記普通当り判定手段の判定結果が肯定の場合、前記普通図柄変動ゲームの終了後、前記開閉始動手段が開放される普通当り遊技を付与する普通当り遊技決定手段と、

前記普通当り判定手段の判定結果が肯定の場合、前記開閉始動手段の開放を報知する開放報知演出を実行させる演出制御手段と、

特別図柄変動ゲームが大当たりとなる可能性を示唆する大当たり予告の実行可否を判定し、当該判定結果に基づき、大当たり予告を実行させる予告制御手段と、を備え、

前記大当たり予告の演出態様は、前記開放報知演出と同じ演出態様とされていると共に、前記大当たり予告の実行タイミングは、複数設けられていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、予め定めた複数種類の特別図柄を変動させて行う特別図柄変動ゲームを表示する特別図柄表示手段と、入球した遊技球を

検知することにより前記特別図柄変動ゲームの始動条件を付与する始動手段と、を備え、前記始動手段には、前記遊技球の入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように動作する開閉手段を有する開閉始動手段を含む遊技機において、前記始動手段に遊技球が検知された場合には、前記特別図柄変動ゲームの始動条件の成立数を示す始動保留球を記憶する保留記憶手段と、前記始動保留球が前記保留記憶手段に記憶されている場合には、前記始動保留球に基づき前記特別図柄変動ゲームが大当たりとなるか否かの大当たり判定を実行する大当たり判定手段と、通過した遊技球を検知することにより、予め定めた複数種類の普通図柄を変動させて行う普通図柄変動ゲームの始動条件を付与する普通図柄始動手段と、前記普通図柄始動手段に遊技球が検知されたことを契機に、普通図柄変動ゲームが当りとなるか否かの普通当り判定を実行する普通当り判定手段と、前記普通当り判定手段の判定結果が肯定の場合、前記普通図柄変動ゲームの終了後、前記開閉始動手段が開放される普通当り遊技を付与する普通当り遊技決定手段と、前記普通当り判定手段の判定結果が肯定の場合、前記開閉始動手段の開放を報知する開放報知演出を実行させる演出制御手段と、特別図柄変動ゲームが大当たりとなる可能性を示唆する大当たり予告の実行可否を判定し、当該判定結果に基づき、大当たり予告を実行させる予告制御手段と、を備え、前記大当たり予告の演出態様は、前記開放報知演出と同じ演出態様とされていると共に、前記大当たり予告の実行タイミングは、複数設けられていることを要旨とする。